

地域に根づき、元氣をおすそ分け ～ふるさと しポート～

かんおん ひ 感恩碑

尻屋地区には、昭和11年に秩父宮雍仁殿下と勢津子妃殿下が来訪されたことを記念した石碑があります。秩父宮様は大正天皇の第2皇子で、下北半島の御視察に勢津子様と尻屋を訪れました。勢津子様の祖父は松平容保会津藩主（後の斗南藩知藩事）で、斗南藩は尻屋埼灯台の建設を請願するなど、勢津子様と尻屋には深い縁がありました。

そのため尻屋の人々は秩父宮様と勢津子様の御来訪に大変感激し、昭和13年に海を見渡す躑ヶ丘の地へ感恩碑を建立しました。現在は砂防林である松の木に取り囲まれ、尻屋土地保全会によって大切に守られています。

冬季は積雪のため観光はできませんでしたが、新緑が生い茂る5月になり、通行が可能となりましたので、5月の大型連休等、是非一度足をお運びいただけたらと思います。

※感恩碑へは、尻屋漁港からアタカ方面へ200m程にある看板を目印にお進みください。



現在の感恩碑



建立当時の感恩碑（写真提供：尻屋土地保全会）

今日の『ひがしどおり小話』

No.26 寒立馬の仔馬が産まりました！

東通村にも、ようやく春が訪れ、道端には、ミズバショウやフキノトウの群落が広がっています。尻屋崎周辺では、寒立馬の出産シーズンを迎えています。産まれたばかりの仔馬は、時折、お母さんとじゃれたり、小さな身体を草木にこすりつけたりして、愛くるしい様子を見せてくれます。

現在、寒立馬は、冬季以外は尻屋崎ゲート近くの牧草地に放牧されています。

見学の際は、ルールを守り、交通事故等に十分注意しましょう！

